

(公財)国際労働財団(JILAF)主催
2025 年度国際シンポジウムⅡ

**ビジネスと人権 — サプライチェーンにおける責任ある企業行動
～持続可能で人権が尊重されるサプライチェーン構築に向けて～**

「責任あるサプライチェーン」は、ビジネス分野で注目されている主要なトレンドの一つであり、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づいて制度化が進められています。さらに、SDGs の普及に伴い、サプライチェーン全体で人々の権利が尊重されることを目指した政策や取り組みも拡大しています。

一方で、米国をはじめとした最近の対外貿易政策の変化によって、多国籍企業などの買い手企業は調達・生産体制の再編を余儀なくされています。その結果、雇用喪失やアウトソーシング、利益優先の経営方針がもたらす職場環境への影響などが生じています。

本シンポジウムでは、専門家を招き、サプライチェーンにおける責任ある企業行動や、労働組合の役割・課題についての講演をいただきます。また、アメリカ、オーストラリア、シンガポール、ドイツなど、最終消費市場に近く、多国籍企業の拠点も多い国々の労使代表から、直面している課題とその対応について共有していただきます。パネルディスカッションでは、人権が尊重されるサプライチェーンを持続していくための責任ある企業行動と労働組合の役割について、昨年の先進国シンポジウムで示された課題のその後の変化や取り組みを踏まえながら議論し、日本としてどのように行動すべきかについてのヒントを得られればと考えます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

開催日時	2025 年 12 月 3 日(水) 13:30～16:20
場 所	ベルサール神田 3F Room 1,2 (東京都千代田区神田美土代町 7) ※ 千代田線新御茶ノ水駅/丸の内線淡路町駅/都営新宿線小川町駅 ※ ご来場・オンライン配信併用
お申込み	下記の参加フォームからお申込みください。 https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_x5-JW1hjSR6CeJl8z5PEaA ※ご登録後、ウェビナー参加に関する確認メールが届きます。 上記参加フォームからのお申込みについてのご質問等につきましては、下記、「お問い合わせ」までご連絡ください。
締め切り	2025 年11月25日(火)
参 加 費	無料
主 催	公益財団法人 国際労働財団(JILAF)
お問い合わせ	公益財団法人 国際労働財団(JILAF) 労使関係開発・草の根支援グループ E-MAIL: labourrelations@jilaf.or.jp

プログラム

MC: パーワリン チュンサム 労使関係開発・草の根支援グループリーダー

13:25	開会前のご案内
13:30	開 会
13:30-13:35	主催者挨拶 国際労働財団 理事長 相原 康伸
13:35-13:40	来賓挨拶 ILO 駐日代表 富田 望 氏
13:40-13:50	課題提起 JILAF 副事務長 鈴木人司 これまでの JILAF の責任あるサプライチェーンに関する取り組みから得た知見
13:50-14:10	基調講演 国連開発計画(UNDP)ビジネスと人権プロジェクトリエゾンオフィサー／弁護士 佐藤 暁子 氏 (仮題)サプライチェーンにおけるビジネスと人権・責任ある企業行動
14:10-14:20	休 憩(10分)
14:20-15:00	各主体からのレポート 持続可能で人権が尊重されるサプライチェーン構築に向けての活動事例 ～直面する課題とその対応について～ ACTU: DGB: Ms. Miriam-Lena Hom NTUC: Mr. Nur Azarudin Putra Mohamed Jufri AFL-CIO: Mr. Matthew Dyke Nicholson シンガポール 経営者代表
15:00-15:15	休 憩(15 分)
15:15-16:25	パネルディスカッション 人権が尊重されるサプライチェーンを持続していくための先進国における責任ある企業行動と労働組合の役割 <コーディネーター> ・ 国際労働財団 : 副事務長 鈴木 人司 <パネリスト> ・ ACTU ・ DGB ・ NTUC ・ AFL-CIO ・ シンガポール 経営者代表 ・ UNDP ビジネスと人権プロジェクトリエゾンオフィサー／弁護士 佐藤暁子 氏 ・ ILO 駐日事務所 : 本庄 宏式 氏
16:25-16:30	総括・閉会挨拶 国際労働財団 専務理事 矢木 孝幸

※通訳が入りますので、全て日本語でお聞きいただけます。

※プログラムは現時点の予定です。状況により変更となる可能性がございます。